

「霊性と医学」をテーマに

世界各地の医師が集まって神の力を証するWCDN国際キリスト教医学学会が今年も開かれた。

[霊の愛シリーズ11] 愛は不正を喜ばず

霊の愛を心に耕すためには、不正を行わないでこれに加わることもないし、神様に属する善と愛を心にぎっしり満たさなければならない。

肉なのか、霊なのか？

自分の心が神様の願われる御霊に属する心なのか、それと反対の肉の心なのか、チェックできる四つの基準を紹介する。

支教会8月スケジュール

医学を通して明らかにされる神の力

WCDN第10回メキシコ国際キリスト教医学学会で発表された、神の力ある祈りでいやされた事例を紹介する。

万民ニュース

第129号 2013. 7. 28.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7042

www.manmin.org

24か国から350余人の医師、神の力の証人に

WCDN第10回国際キリスト教医学学会、メキシコで開かれる



WCDN(World Christian Doctors Network)は超教派のクリスチャン医師の集まりで、韓国に本部をおいている。毎年学会を開催して、神の力によるいやし事例とクリスチャン医師としての義務と積明に関する基調講演でフェローシップと友情を固め、生ける神を証している。(写真1.第10回メキシコ学会 2.組織委員長フエンテス博士の挨拶 3.光の声重唱団の公演 4.フランシスコ・バルバロス博士の事例発表)

2013年6月14日と15日、WCDN(世界クリスチャン医師ネットワーク)主催「第10回国際キリスト教医学学会」がメキシコのトルーカ市で開催された。

24か国から350余人の医師が参加した中、「霊性と医学」というテーマで学会が始まった。WCDN会長チェ・ユンソク博士は歓迎の辞で、クリスチャン医師が信仰にあって一つになり、神を知らず、救われていない多くの医療関係者と知識人を目ざめさせる学会になるように願うと述べた。

WCDN設立者で理事長であるイ・ジェロク牧師は「終わりの時、数多くの魂を救うのにどうしても必要なWCDNの働きに、心とまことを尽くして献身して下さるよう」というビデオメッセージを伝えた。

当地の組織委員長ダニエル・フエンテス博士は「ラテンアメリカで初めてWCDNの学会を開催できて、とても光栄です」と感謝の挨拶をした。

今回の学会では、医学的治療が不可能だが祈りで完治した7事例が資料とともに発表された。チェ・ユンソク博士は、脳出血で急に容態が悪化した2人の患者が、イエス・キリストの御名によってイ・ジェロク牧師が祈るといやされた事例を発表した。

メキシコの整形外科専門医ホセ・パストゥラナ博士は、自分の執刀で手術を受けていた娘が、突然こつこつ心筋症を起こして昏睡状態に陥ったが、イ・ジェロク牧師の時間と空間を超えた祈りを受けて健康を取り戻した事例を発表した。また、シンガポールの家庭医学専門医デイビッド・ユ博士は、尿路感染で敗血症と臓器マヒまで起こした自分の息子が、イ・ジェロク牧師の祈りでいやされた事例を発表した。

二日間、事例が発表されるごとに質疑応答が続き、いやされた本人が証したケースもあり、注目を集めた。ホロコースト生存者後援会会長で医師であるアンドレ・ガシオロウスキー博士(イスラエル)は、バイオリ

ン演奏者のある女性がホジキンリンパ腫にかかって、信仰によっていやされた事例を発表した。続いて本人が出てきて証をした後、バイオリン演奏で神に栄光を帰した。

この他にも、医学と医師の霊性を高める多様な特別講義があった。ルイズ・パズ博士(プエルトリコ)とアポロス・ランダ博士(ペルー)は、クリスチャン医師として積明と自負心を持って、患者を霊肉ともにいやさなければならないと強調した。

ファン・ジュナ博士は「答えの法則」をテーマに、イ・ジェロク牧師の説教を土台に特別講義をした。合わせて、自分の娘が手首の石灰性腱炎を神の力ある祈りでいやされた事例を挙げて、信仰によって答えられる方法を聖潔と神の力に関連させて提示した。

また、万民中央教会の芸能委員会所属、光の声重唱団の公演は会場を一つにして、美しい賛美と舞踊で参加者に大きい恵みと感動をプレゼントした。

学会後、組織委員長フエンテス博士は

「イエス・キリストはきのうもきょうも、いつまでも奇跡を施して、世にその愛を見せてください。神癒の医学的証拠と魂を生き返せる特別講義、そして聖霊に満された賛美と公演などで神様に栄光を帰した、すばらしい学会でした」と述べた。フエンテス博士は2011年、WCDNのホームページ(www.wcdn.org)で初めてこの働きを知った。その後、神の力を医学的に立証するクリスチャン医師会アメク(AMEC)を結成して活動している。WCDNアメリカディレクターのアルマンド・ピネーダ博士に励まされて、メキシコだけでなくラテンアメリカ全体の学会を開きながら、今回の学会を主催するようになった。

また、グアテマラ駐在のコスタリカ大使、ペルナンド・ボルボン氏はイ・ジェロク牧師の祈りで肺腫瘍がいやされた自分の証しをして、初日の学会で締めくくりの祈りをした。第11回学会は2014年、ブルガリアで開催される予定である。

愛は不正を喜ばず



堂会長イ・ジェロク牧師

「不正を喜ばずに真理を喜びます。」
(第一コリント13:6)

神様が望んでおられる愛は、相手の利益を求めて、喜びと希望、いのちを与えるだけでなく、永遠に変わることはない霊の愛です。反対に、肉の愛は自分の利益を求めて、簡単に変わります。「愛の章」と呼ばれる第一コリント13章を読めば、霊の愛はどんな属性を持っているのかよくわかります。

前号までは、霊の愛の15の属性のうち、寛容であること、親切であること、人をねたまないこと、自慢しないこと、高慢にならないこと、礼儀に反することをしないこと、自分の利益を求めないこと、怒らないこと、人のした悪を思わないことについて調べてみました。

この号では、その次の属性「不正を喜ばず」について調べます。不正とは、行いとして現れる「正しくないこと。正当でないこと。」を言いますが、不正を喜ばな

くてはじめて霊の愛を心に耕せます。

はたして「不正を喜ばず」という意味は何で、不正を喜ばない霊の愛を心に耕すためには、どうすべきでしょうか？

1. 不正を喜ばずとは？

先進国であるほど正直な人が成功する確率が高いです。反対に、後進国であるほど不正、腐敗と不義が蔓延しています。お金で解決されないことはほとんどないからです。不正は国家全体の興亡盛衰とも密接な関連があります。

ひとりひとりの人生にも、不正は莫大な影響を及ぼします。自分だけ良い暮らしをすればいいという利己的な心には、まことの満足がなくて、誰かを愛することもできません。それで、神様は、不正を喜ばずに真理を喜ぶことがまことの愛だと教えてくださるのです。

「不正を喜ばず」は、九番目の属性「人のした悪を思わず」と似ていますが、違いがあります。「人のした悪を思わず」という意味が、心に悪はどんな悪もいだかないことならば、「不正を喜ばず」とは、行いとして現れる良くないことを喜ばず、加わらないことです。

簡単に言うと、自分を傷つけたことのある裕福な友だちを見れば、ねたみ、そねみが芽生えます。わけもなくその友だちが威張っているようで、気に入りません。「あの子は豊かに暮らしているのに、私は何なの？」「あの人が困ったらいいのに」という思いまでふとよぎります。これが悪をいただくことです。

ところで、うまくいっていた友だちが詐欺にあい、一朝にして会社が不渡りを出してしまいました。一瞬「いい暮らしをしていると威張っていたのに、いい気味だ」とうれしくなったら、これは不正を喜ぶことです。さらに悪い行いに同調して加わったとすれば、積極的に不正を喜んだことなのです。

2. 霊の愛を心に耕すためには

1) 法を犯したり人に被害を与えることがあってはなりません

誰が見ても明らかに間違っていると感ずる不正は行ってはなりません。たとえば、正直に汗を流さないで、人を欺いて正しくない方法で富を蓄積したり、法と手続きを犯しながらも自分の利益を積んで

いくことは不正です。判事がわいろをもらって不当な判決を下して、罪のない人が不当な処罰をされたとすれば、これもまた不正です。

また、量をごまかして売ったり、安くて質の悪い原料を使って不当な利益を得て、他の人がどうなるかが関係なく自分の利益だけ手に入れることも同じです。この他にも、不正な金品を得ようと、人を欺いて嘘をつく人がどんなに多いでしょう。

もし皆さんが高い公職についていて、親しい友だちが不当な方法で多額のお金を儲けていることがわかったとしましょう。摘発されれば重い処罰を受けるようなことです。この時、友だちが大金を渡して、しばらくの間だけ目をつぶってくれと頼みます。うまくいけば、今後もっとお礼をすると言います。この時、すぐに大金が必要な大変な状況でも、神様を愛するのなら、決して不正を行わず、正しい道に従って行わなければなりません。

〈第二歴代誌19:7〉に「今、【主】への恐れがあなたがたにあるように。忠実に行いなさい。私たちの神、【主】には、不正も、えこひいきも、わいろを取ることもないからです。」とあります。神様は正しいお方であり、不正が全くおありになりません。したがって、人の目はごまかせるかもしれないけれども、神様は欺けないので、正直で誠実に生きなければならぬのです。

聖書を読めば、アブラハムはソドムに住んでいたおいが戦争に巻き込まれて捕虜になったとき、おいだけでなく、ソドムの人々と彼らの財産まで取り戻してあげました。ソドムの王はありがたく思って、取り戻した財産をアブラハムに与えようとしたのですが、アブラハムは固く断ります(創世記14:22-23)。また、妻のサラが死んだ時も、土地の持ち主が埋葬地をただあげると言っても、あえて正当な代価を支払います(創世記23章)。これは彼が正直で、不労所得や不正の金品をただで得ようとする心が全くなかったからです。

神様を愛して、その方から愛される人は、決して他人に害を及ぼしたり、法を犯してまで自分の利益を求めたりしません。正当な代価以外には願いません。したがって、不正を喜ぶ人は、それだけ神様と隣人への愛がないのです。

2) 神様のみことばに外れることがあってはなりません

法を犯したり人に被害を与えることだけでなく、神様のみことばに外れるあらゆる罪がすべて不正です。不正は心の悪が具体的なかたちとして現れた罪であり、罪の中でも特に肉の行いに当たります。つまり、心にある憎しみ、ねたみ、そねみのような悪が、争い、暴行、詐欺、殺人などの行いとして出てくるのです。

〈第一コリント6:9-10〉に「あなたがたは、正しくない者は神の国を相続できないことを、知らないのですか。だまされてはいけません。不品行な者、偶像を礼拝する者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、盗む者、貪欲な者、酒に酔う者、そしる者、略奪する者はみな、神の国を相続することができません。」とあります。したがって、不正を行う人は救われることも難しいということを悟って、徹底的に悔い改めなければなりません。

聖書で、不正を愛して滅びに向かった人の中にアカンがいます。彼は出エジプト第二世代で、小さい頃から神様が自分の民族に行われたことを見て育ちました。昼は雲の柱で、夜は火の柱で導かれ、ヨルダン川の水がつつ立って、堅いエリコの町の城壁があつという間にくずれ落ちるのを見ました。当時、イスラエルの指導者だったヨシュアがエリコのものには一切手を出さなと言ったのも、神様にささげる物だからであることを、アカンはよく知っていました。

ところが、エリコから出た物を見た瞬間、思わず欲に目がくらんでしまいました。美しい外套と、輝く金と銀を見て、神様のみことばもヨシュアの指示も忘れて、ひそかに隠しておきました。結局、アカンが罪を犯したので、イスラエルは次の戦いで敗れてしまいます。このことでアカンの不正が明らかにされ、彼と彼の全家族は石で打ち殺されます。

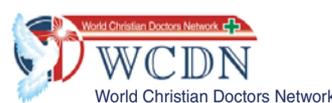
愛する聖徒の皆さん、何の罪もないイエス様が悪い私たちに救うために身代わりとなって、十字架につけられて死なれました(第一ペテロ3:18)。このような大いなる愛を悟ったら、決して不正を喜んではなりません。不正を喜ばない人は不正を行わないだけでなく、神様のみことばどおり生きていきます。するといつも栄える人生を味わえるのです。



Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民 ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロ区クロ3ドン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048



私の心のチェックリスト

御霊に属する心にどれだけ変えられただろうか？

神様が望まれる御霊に属する心とそれと反対の肉の心を四つに分けてみた。

一步引く心 VS 先に立とうとする心



ここで「一步引く心」とは、難しいことを引き受けまいと身をすくめたり、責任を回避して優柔不断に退く真理に逆らう心のことを言うのではない。へりくだって叫ばないし、自分の立場で正しいことだけを主張しないで、自分の功を認められようとしない心のことを言う。これは役に立たないしもべの心で、何と少しでも相手の心を顧みて、真理にあって平和をつくらうとする。仕えようとするだけなので、いつも心が安らかで幸せだ。

反対に「先に立とうとする心」があれば、自分の名前と功が現れることを願い、他の人より自分のほうが認められたいと思う。自分が見て労苦したこと、目立たせるほどのことがあると思うので、ほめられて認められることを願うのだ。本当にへりくだった心を持てば、いくら労苦したとしても、当然すべきことをしただけだと思うので、先に立つことをひどく申し訳なく感じる。

これとは違って、ある事に自信がなくて力がないので、前に出ないで後ろに引いている場合がある。この時、先に立とうとしたり叫ぶ心がないと自分では思っているが、自分が得意なことや目立たせるようなことが起きれば、肉の心が現れる。自分の思いどおりに事が運ばないとき、深い所にあった根本の属性が、つぶやき、やりきれなさ、人とぶつかるなどの形で現れるのだ。したがって、自分がいくら正しいと思うことでも、時と場所などすべての状況をよく考慮して、主張する時と主張しない時を見分けなければならない。

理解する心 VS 自分のほうに合わせて考える心



「理解する心」とは、相手を良いほうに見てあげる心のことだ。相手の短所を見て敬遠しないし、その心を推し量って、なぜそうするしかないのか、その人の立場で理解する。今はたとえ欠けているところがあっても、神様が恵みを下されれば必ず変えられると信じて、何と少しでも頑張ってすべてが益とされるように、慰めて助けてあげたいと願う心である。このように良い心で理解するとき、相手も心の戸を開いて、心をつかち合うことができる。まさに理解しないことから誤解が生じて、平和が壊れるのだ。

自分の立場と観点、そして自分の利益を求めると考えれば、相手が理解できない。しかし、人によって信仰が違い、成長した環境と学んだこと、能力と性分が違うということ、自分が完全でないように相手も完全でないことを認めなければならない。御霊に属する心を持った人は相手の立場で理解するので、そむきの罪をおおってあげて、良いほうに思う。自分が持っている真理の定規で相手を見る前に、相手の痛みがまず心に感じられるので、一緒に悲しむ。

相手が自分をつらくさせるとするのは、相手の立場で考えられないからだ。自分の立場で考えるからつらいのであって、相手の立場で理解すればつらくないし、平安を失わない。訓練の中でもいつも良いほうに理解して、御霊に属する心に変えられようと努力するとき、神様の心と愛が悟れて、まことの祝福の主人公になることができるのだ。

認める心 VS 弁解する心



御霊に属する心を持った人はアドバイスや指摘、お叱りを受けるとき、自分の欠けていることと過ちを認める。目上の人はもちろん、同僚がアドバイスして、小さい者が指摘するとしても、心が傷つかないでありがたいと思う。自分のために言ってくれるのだと良いほうに思うので、相手をありがたく思う心になるのだ。仮に相手の指摘が正しくなかったとしても、謙虚に受け入れて自分を顧みる。相手の目には自分の行いが正しくないこともあり、徳を高めないこともありうることを、いつも覚えておくのだ。

反対に、肉の心を持った人はアドバイスや指摘、お叱りを受けるとき、弁解して言い訳をする。それどころか、指摘する相手がむしろ自分のことを間違っていると知り、むなしくなってわだかまりを持ったりもする。

御霊に属する心を持った人は、他の人の良い点と得意な点を認める。しかし、肉の心を持った人は、自分を基準にして相手を見るので、信仰が弱い人が最善を尽くしても、足りないと思えば認めない。また、ねたみ、そねみがあって、自分より劣っている人がほめられるとき、短所を思い浮かべてその人の長所を認めない。反対に、御霊に属する心を持った人は、何と少しでも相手がよくやれることを期待して、長所一つでも認めてあげて、その長所を生かして短所を改善していくことを願うのだ。

変わらない心 VS 変わる心



御霊に属する心を持った人は、一度受けた恵みについての感謝が変わらない。いつも忘れないでいて、自分が受けた恵み以上に報いようとする。「このくらい報えばいい」と思わないし、自分が喜んで恵みに満たされている時でも、つらくて大変なことがある時でも、変わらずその恵みに感謝して、主を愛する行いをやめない。

反対に、肉の心を持った人は、恵みに報いていても、自分の利益に合わなければその心と行いが変わる。心に決めたことを初めは喜んで感謝して行っているが、後にはいやいやつらそうにする。また、全く決めたことを行えなかったり、誓願したことを破ったので訓練を受けて、試練や患難に落ちたりもする。

御霊に属する心を持った人は、聖められた御霊の人に見習おうとする行いも、いつも変わらない。その人を手本にして、自分も御霊の人に変えられようとするからだ。究極的な目的が御霊の人の心に変えられることなので、行い自体も善で美しい姿として出てくる。

ひょっとして自分は御霊の歩みを慕うといっても、一步引くより先に立とうとしたり、その状況を楽しもうとする心ではないか、相手の心を理解するよりは自分に合わせて考えるので相手をつらくしてはいないか、指摘されればつらくなって、心では認められなくて理由と言い訳をしていないか、恵みに報いようとする心が自分の利益を求めるとのゆえに変わっていないか、顧みてみよう。

8月支教会スケジュール

8月10日(土)	別府万民教会	権能いやし聖会 (講師:加藤勲牧師)
8月25日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会 (講師:崔ビョンラン牧師)
8月25日(日)	東京田端万民教会	特別いやし集会 (講師:鄭庚泰牧師)

8月28日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会 (講師:柳スズキ牧師)
8月31日(土)	名古屋万民教会	癒しの集会 (講師:時國みや子牧師)
8月31日(土)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会 (講師:金マルコ牧師)

WCDN(世界クリスチャン医師ネットワーク)は神が施してくださいたいやし事例を医学的に検証して、神の力あるわざを証している。神の存在を疑って否認する人々に、医学的な証明で神の生きておられることと聖書がまことであることを明らかにする尊い道具として使命を果たしている。

今年6月14日と15日、WCDN主催「第10回国際キリスト教医学学会」がメキシコのトルーカ市で開催された。24か国から350余人の医師が参加した中で特別講義といやし事例発表があった。万民中央教会の堂会長イ・ジェロク牧師がイエス・キリストの御名によって祈ると現れたいやし事例の一部を掲載して、神に栄光を帰す。



クリスチャン医師の集まりWCDN、神の力あるわざを医学的に証明する



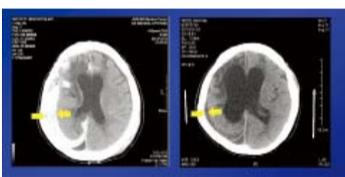
<韓国の事例>



病名 | 脳出血

発表者 | チェ・ユンソク博士(外科専門医)

49歳の男性患者の事例である。患者は2012年12月13日、凍結した道で転んで応急室へ運ばれた。彼は1991年に交通事故による右脳の血腫で手術を受けたことがある。



祈りを受ける前 脳出血が見られる
祈りを受けた後 脳出血が消滅

当日の頭部CT検査で、右側に三日月型のくも膜下出血が観察された。追跡検査で脳出血がひどくなっていることがわかったが、患者はすべての手術を拒否した。患者の代わりに妻と娘がイ・ジェロク牧師にとりなしの祈りを受けた。

ところが、入院して一週間目に肺炎が起り、病勢が好転しないので、家族は信仰生活を熱心にすると言ったのに霊的に忠実でなかったことを悔い改めた。2013年1月1日、イ・ジェロク牧師の祈りを再び受けた。二日後の頭部CT検査で、くも膜下出血がなくなったことを確認した。患者が直接祈りを受けられなかったが、聖書に記されているとおり、時間と空間を超えて神のいやしのみわざが現れたのである。



<メキシコの事例>

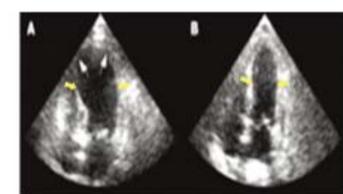


病名 | たこつぼ心筋症

発表者 | ホセ・パストゥラナ博士(整形外科専門医)

19歳のある女性は2011年12月14日、成形手術を受けた。手術は特に問題なく進められ、手術後の合併症などの異常所見は観察されなかった。ところが二日後、突然の低血圧、呼吸困難、意識消失など心不全の所見が見られ、集中治療室へ移された。心臓超音波検査の結果、たこつぼ心筋症と診断された。集中治療にもかかわらず、症状は好転しなかった。その当時、医療スタッフは死亡する危険性が高いと判断した。

A 上左心室の拡張が見られる
B 6日後、左心室が正常になり回復



患者が集中治療室で死闘を繰り返しているとき、家族はWCDNアメリカディレクターのアルマンド・ピネーダ博士を通して、韓国にいるイ・ジェロク牧師にとりなしの祈りを依頼した。礼拝の時、時間と空間を超えたイ・ジェロク牧師のいよしの祈りを受けた患者は、驚いたことに2011年12月21日、危篤状態から脱し、完全に回復して退院した。



<シンガポールの事例>



病名 | 敗血症、黄疸

発表者 | デイビッド・ユ博士(家庭医学専門医)

2009年10月14日に生まれた末の息子が生後7週間ぐらいの時だ。高熱が続いて、11月30日に小児科を訪ねた。医師は、尿路感染による敗血症が疑われるから、直ちに入院して抗生剤の静脈注射を打たなければならないと言った。しかし、そのまま家へ戻った。抗生剤の副作用が心配だけでなく、クリスチャンとして祈りによる神のいやしのみわざを信じたからだ。

二日後、息子の顔は青白く、黄疸が観察されたし、腹部は膨張していた。妻のファン・ピンピン宣教師はイ・ジェロク牧師にとりなしの祈りを依頼した。祈りを受けた息子は熱が下がって、腹部も収縮した。その週、初めて微笑を浮かべ、もう一度祈りを受けた後は、黄疸症状も消えた。

12月18日に受けた血液と尿の検査結果は正常で、尿路感染と敗血症がいよされたことが確認できた。どんな薬も飲まないで、ただ神の力ある祈りによって完治し、現在健康に成長している。



主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市長東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会
〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目7-26
T) 0867-72-7276

・イエス・キリスト銚田万民教会
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177

・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト京都万民教会
〒611-0001 京都府宇治市六地藏奈良町61-22
T) 0774-27-2779

・イエス・キリスト沼津万民教会
〒410-0802 静岡県沼津市上土町6第一ビル2F
T) 055-952-6861

・イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472